

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 中間配当
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告の方法により行います。 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載アドレス http://www.kawai.co.jp/ir 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないために特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払い配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 河合楽器製作所

〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
Tel:053-457-1213 Fax:053-457-1300
URL:<http://www.kawai.co.jp>

KAWAI
もっと伝えたい、感動を。

第86期 報告書

2012年4月1日～2013年3月31日

 株式会社 河合楽器製作所

証券コード7952



株主の皆様には、平素、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第86期報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景として緩やかな景気回復の動きが見られたものの、欧州金融不安の長期化や中国経済の成長鈍化などによる世界経済低迷の状況の中、個人消費の落ち込みや企業の生産活動が停滞するなど先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと、当社グループは「第3次中期経営計画」最終年度の計画遂行に取り組んでまいりました。

第86期の期末配当金につきましては、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするため、1株につき4円とさせていただきます。

今後につきましても、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、当社グループは、2013年4月1日より新たに「第4次中期経営計画」をスタートさせ、「堅実なる成長」を基本方針とした諸施策に取り組んでまいります。

株主の皆様には、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月
取締役社長 **河合弘隆**

当年度は、楽器事業においてモデルチェンジした最高級グランドピアノ『Shigeru Kawai』を軸としたグローバルブランドの確立に取り組み、世界最大のピアノ市場である中国において販売・音楽教室・調律の三位一体体制により事業拡大に積極的に注力いたしました。グローバル生産体制の強化に向け、中国に電子ピアノの生産会社を設立するとともに、国内では主力店舗のリニューアルを、海外では新興国での販売網拡大を進めました。

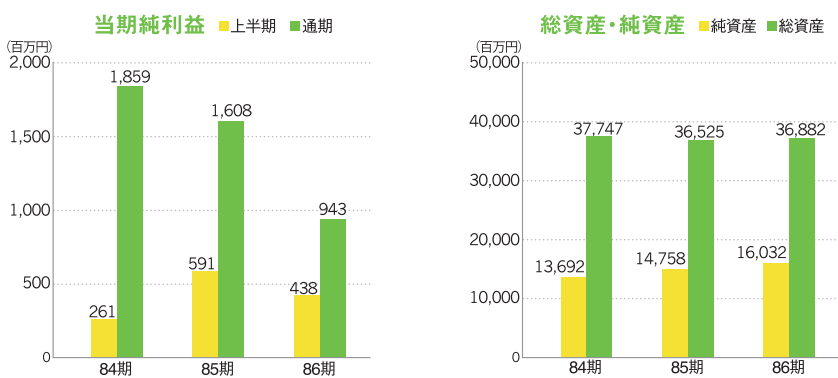
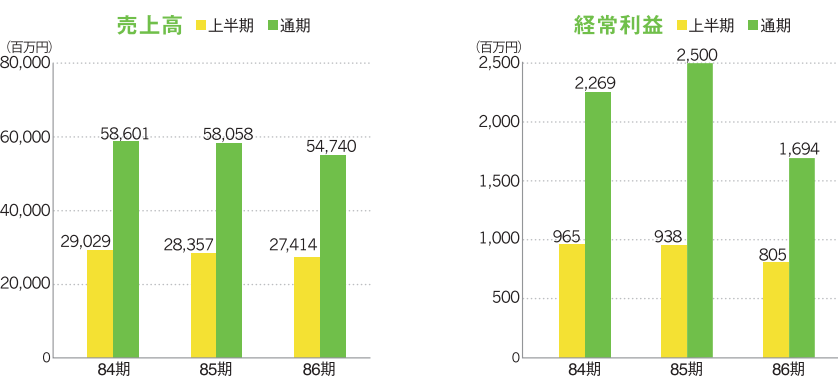
教育関連事業では新興国での音楽教室の展開や国内での幼稚園・保育園教場の開拓に積極的に取り組み、素材加工事業では受注量の拡大や生産性の向上に努めました。

この結果、楽器事業においては中国市場で順調に推移したものの、欧米や国内でのピアノ売上の減少をカバーするには至らず、また素材加工事業における受注減少、情報関連事業における大型案件の受注減少などがあり、売上高は54,740百万円（前年度比 3,318百万円 5.7%減）となり、このうち国内売上高は 38,898百万円（前年度比 3,229百万円 7.7%減）、海外売上高は 15,842百万円（前年度比 89百万円 0.6%減）となりました。

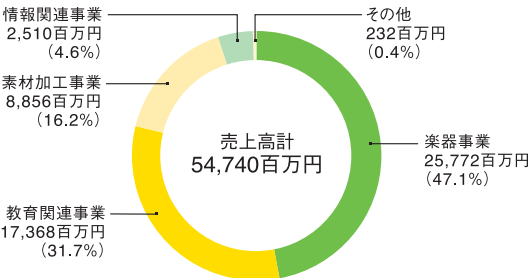
損益面では、営業利益は 1,171百万円（前年度比 1,357百万円減益）となり、経常利益は円安進行による為替差益の発生があり 1,694百万円（前年度比 806百万円減益）となりました。また、当期純利益は 943百万円（前年度比 665百万円減益）となりました。

総資産は 36,882百万円（前年度比 357百万円増）、有利子負債は 3,177百万円（前年度比 897百万円減）となりました。

業績ハイライト



事業セグメント別の売上構成



楽器事業

海外のピアノ販売は、中国では引き続き堅調に推移しましたが、欧米などにおいて個人消費の低迷や円高の影響により減少しました。国内のピアノ販売は『Shigeru Kawai』を中心とした積極的な拡販に注力しましたが、グランドピアノ、アップライトピアノともに景気停滞を背景とした消費マインドの冷え込みにより減少しました。

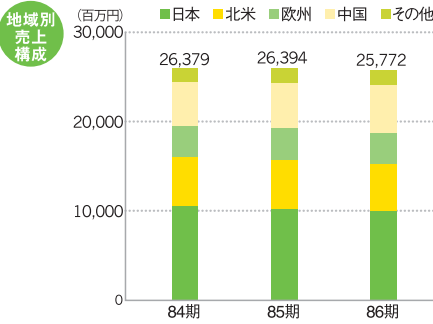
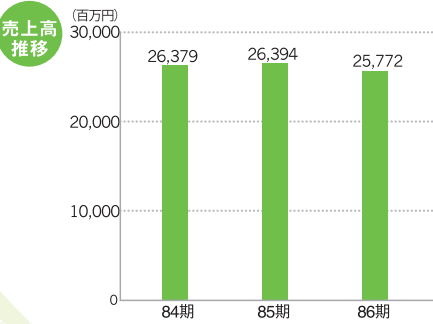
電子ピアノは、主に海外において好調に推移し、特に中国での販売が本格化したことなどもあり伸長しました。電子オルガンは大型機種の販売が減少しました。

売上高は 25,772百万円(前年度比 622 百万円減)となり、損益面では300百万円の営業損失(前年度比 1,080百万円悪化)となりました。



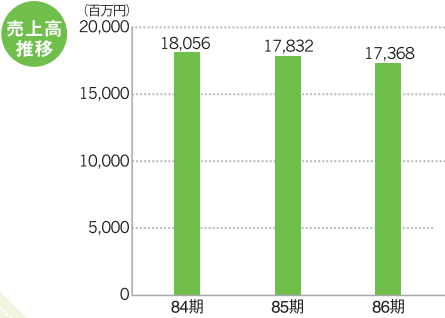
GX-7

抜群の安定感で数多くのユーザーから愛用されているRXシリーズに、Shigeru Kawai グランドピアノに採用した新技術を惜しみなく注ぎ込んだGXシリーズを発売いたしました。



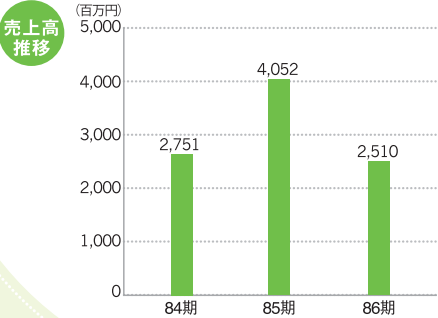
教育関連事業

幼稚園・保育園教場の開拓に積極的に取り組みましたが、生徒数の回復に至らず、売上高は 17,368百万円(前年度比 464 百万円減)となり、営業利益は 1,343百万円(前年度比156 百万円減益)となりました。



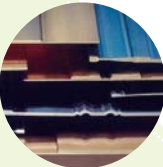
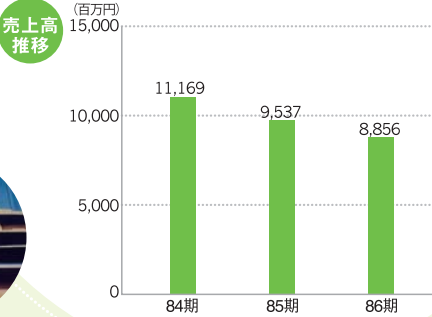
情報関連事業

IT機器の大型案件の受注減少などにより、売上高は 2,510百万円(前年度比 1,542 百万円減)となり、営業損失は 13百万円(前年度比 9 百万円悪化)となりました。



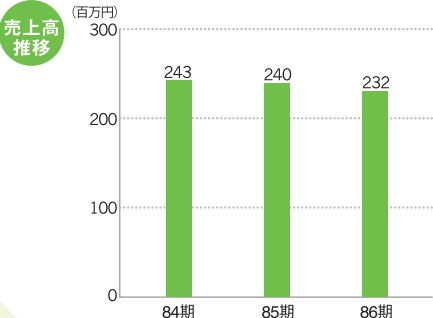
素材加工事業

自動車関連において受注の増加がありましたが、半導体市場の低迷による受注減少の影響が大きく、売上高は 8,856百万円(前年度比 681 百万円減)となり、営業利益は 465百万円(前年度比 69 百万円減益)となりました。



その他

当セグメントの売上高は 232百万円(前年度比 8 百万円減)となり、営業損失は 32百万円(前年度比 8 百万円悪化)となりました。



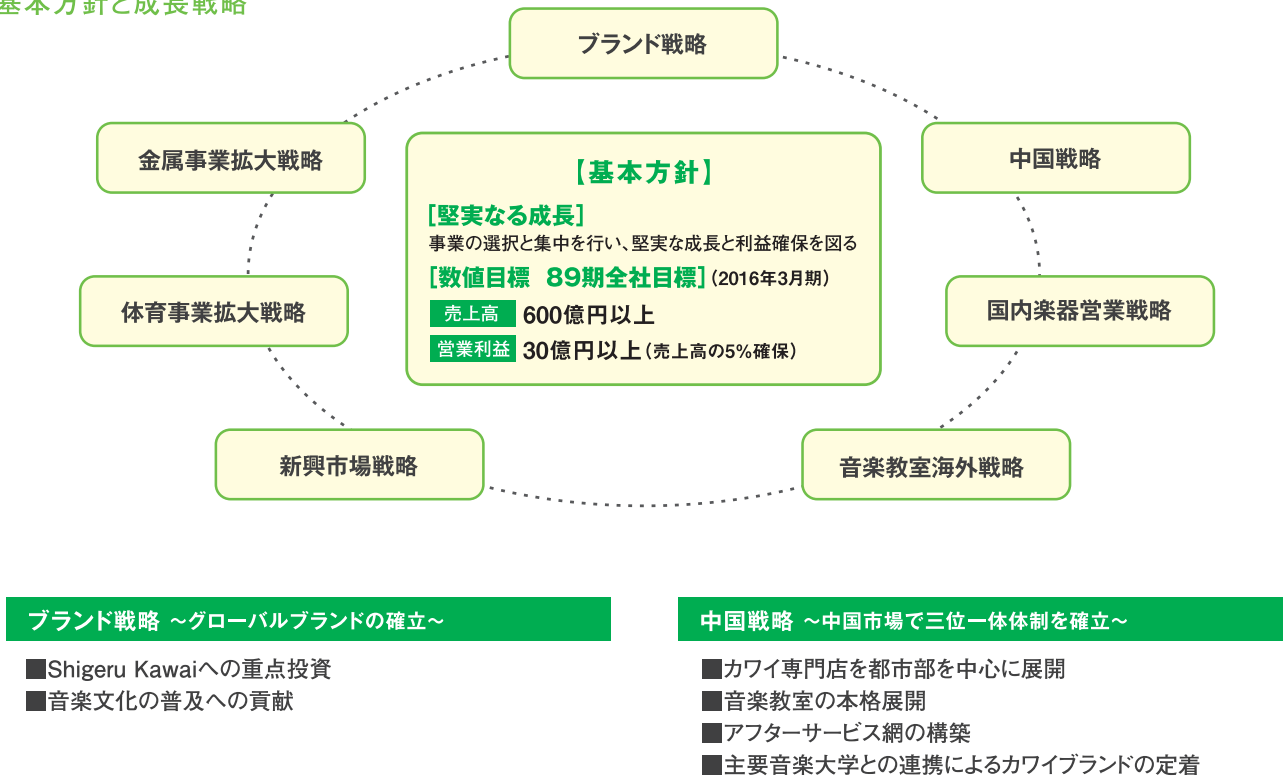
当社は2013年4月より第4次中期経営計画（～2016年3月）をスタートさせました。当計画では、将来を見据えた事業基盤づくりを行うとともに、持続的成長のための構造改革に取り組んでまいります。

未来ビジョン

世界の音楽文化創造の担い手としての責任と誇りを持ち、堅実な成長と発展を目指す

- グローバルブランドを確立する
 - お客様や株主の皆様からの高い信頼を得る
- 音楽文化の普及に貢献する
 - 収益性を高め継続的な発展を目指す

基本方針と成長戦略



国内楽器営業戦略 ～国内市場の効率的販売体制の構築～

- 販売体制再編と強化
- 市場ニーズに即した魅力ある教室展開
- 新しい営業スタイルの導入

音楽教室海外戦略 ～カワイ音楽教室をアジアで本格展開～

- インドネシアに直営教室を開設
- インドネシアのビジネスモデルをアジア各国に展開

新興市場戦略 ～市場に即した販売活動を展開～

- モスクワに販売会社を設立
- 中南米市場の拡大開拓
- 世界戦略モデルを投入

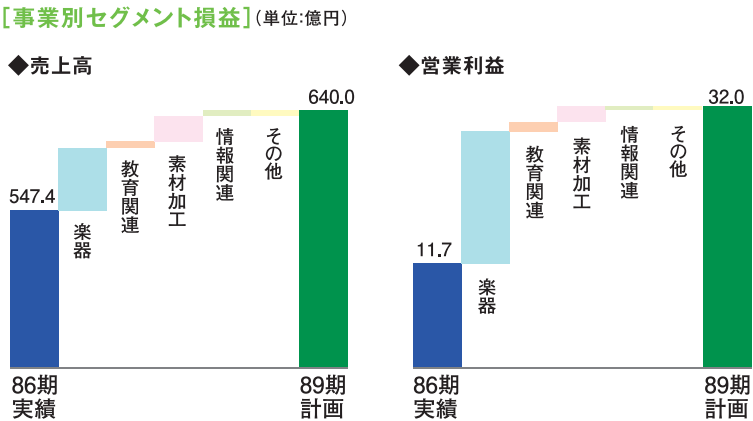
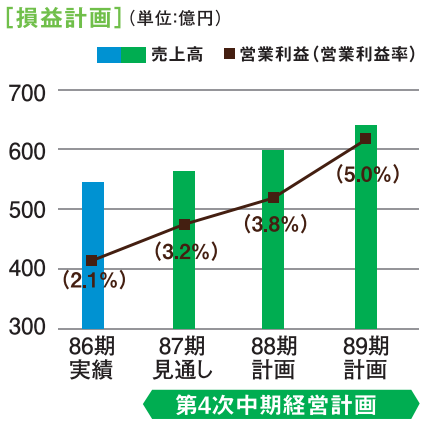
体育事業拡大戦略 ～体育教室の多角的展開～

- 教室事業の拡大
- 健康増進事業の拡大

金属事業拡大戦略 ～CVT向け材料加工分野で世界No.1へ～

- CVT向け受注の拡大
- 生産体制の強化
- 半導体・CVTに次ぐ第3の柱の構築

業績目標



■インドネシアにおける植林活動

●第5次植林をスタート、当初計画を達成

創立80周年記念事業の一環として2007年に開始した「カワイの森」植林活動は今年で7年目となりました。

海外生産拠点のあるインドネシアにおいてCO₂ 吸収源の確保、将来の木材資源の育成を目的として、カワイグループ従業員により運営される「カワイの森育成会」、現地法人PT.カワイインドネシアおよびインドネシア森林公社（Perum Perhutani）とが協力して西ジャワ州カラワン県で植林活動を行っています。

2013年1月にはPT.カワイインドネシアの社長ほか現地関係者により植林開始セレモニーを行い、第5次植林をスタートしました。これまでに累計で250ha、285,500本の植林を行い、当初計画の250ha、20万本を達成しました。

第5次植林開始セレモニー（2013年1月）

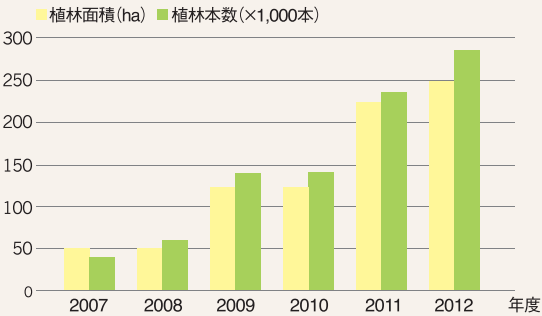


昨年実施した第4次植林の現在の様子



●インドネシアの地元新聞で紹介されました

2013年1月30日付けの地元の新聞「Radar Karawang」紙に「カワイの森」植林活動が取上げられました。植林によるCO₂吸収機能のほか、インドネシアで頻発している洪水防止のための水源涵養機能としても地元へ貢献していることが評価されています。



HUTAN KAWAI (KAWAI NO MORI)
MENGATASI BANJIR DENGAN MENANAM POHON

BENCANA banjir yang baru-baru ini melanda Jakarta ataupun Karawang dan sekitarnya, kembali mengingatkan kita bahwa terdapat masalah lingkungan yang besar yaitu kurang tersedianya tanah dan pohon sebagai media untuk menyerap air hujan yang diakibatkan pembangunan infrastruktur yang kurang mengindahkan terhadap lingkungan disekitarnya. Banjir sudah menjadi hal yang rutin terjadi di musim penghujan dan hal ini tentu saja memberikan dampak cukup besar baik secara sosial maupun ekonomi.

Mr.Hiroaka Kawai selaku President Director Kawai Musical Instruments MFG CO., LTD bersama dengan Bp. Noorochman, STP selaku Wakil ADM KPH Purwakarta serta LMDH Margasariy melakukan penanaman simbolik pohon Albisia Falkarta (Sengon) di wilayah RPH Wanakarta BKPH Telukjambe.

SEBAGAI perusahaan yang berikhtisar di Kawasan Industri KIC yang memproduksi piano, mulai tahun 2007 sampai dengan 2013, PT.Kawai Indonesia bersama dengan Kawai Group bekerja sama dengan Perum Perhutani KPH Purwakarta telah melakukan program

Pengalasan dilakukan penanaman ± 150.000 pohon Jati Plus Perhutani (JPP). Sehingga di tahun 2013 telah dapat diselesaikan program penanaman pohon Hutun Kawai di lahan milik negara seluas 250 Hektar di wilayah Kabupaten Karawang, Jawa Barat.

sangat penting di dalam pelaksanaan program penanaman pohon ini. Program ini bukanlah program untuk mencari keuntungan (bisnis) namun murni sebagai program sosial / CSR (Corporate Social Responsibility). PT.Kawai Indonesia hendak menga-

■環境配慮型のショップづくり

カワイ梅田ではショールーム、サロンのスポット型、直管形などの全照明やレッスン室にLED照明を採用し、電気使用量を36%（3-4月、前年比）削減しました。

また、2012年9月にグランドオープンしたカワイ千葉でもLED照明を採用し、環境配慮型のショップづくりを進めています。



カワイ梅田



カワイ千葉

■河合楽器（寧波）有限公司でISO14001認証取得

カワイグループは業界に先駆けて1997年にいち早く竜洋工場に環境マネジメントシステムISO14001を導入して以来、海外生産拠点を含むグループ全体に環境マネジメントシステムの導入を推進しています。

2011年にPT.カワイインドネシアでISO14001認証を取得したのに続き、2012年9月には中国浙江省の河合楽器（寧波）有限公司においてもISO14001認証を取得しました。



ISO14001の登録証

■『カワイ梅田』リニューアルオープン

梅田ショップは、関西エリアの旗艦ショップとして多くのお客様に親しまれてきましたが、お客様にピアノを弾いて、聴いて楽しんでいただける環境づくりをめざし、2013年3月、さらに魅力あるショップ『カワイ梅田』へと生まれ変わりました。ジャンルを問わず様々なイベントに対応することができるコンサートサロン“Jouer（ジュエ）”を新設したことにより、今後は情報発信型店舗として有効活用してまいります。



■NAMM SHOW 2013

世界最大規模の楽器の祭典“NAMM SHOW 2013”が2013年1月、カリフォルニア州アナハイムで開催され多くの入場者で賑わいました。当社ブースは高級感のある落ち着いた雰囲気の中、グランドピアノ新GXシリーズの世界初披露もあり、多くの音楽関係者の注目を集めました。



■連結貸借対照表(要旨)			(単位:百万円)	
科 目	当 期 '13.3.31現在	前 期 '12.3.31現在		
(資産の部)				
流動資産	19,511	19,426		
固定資産	17,370	17,098		
有形固定資産	14,047	13,692		
無形固定資産	570	707		
投資その他の資産	2,752	2,698		
資産合計	36,882	36,525		
(負債の部)				
流動負債	10,585	10,580		
固定負債	10,264	11,186		
負債合計	20,849	21,766		
(純資産の部)				
株主資本	16,874	16,417		
資本金	6,609	6,609		
資本剰余金	744	744		
利益剰余金	9,679	9,077		
自己株式	△159	△14		
その他の包括利益累計額	△888	△1,658		
少数株主持分	46	－		
純資産合計	16,032	14,758		
負債及び純資産合計	36,882	36,525		

■連結株主資本等変動計算書(2012年4月1日～2013年3月31日)									(単位:百万円)	
	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
2012年4月1日残高	6,609	744	9,077	△14	16,417	168	△1,827	△1,658	－	14,758
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△342		△342			－		△342
当期純利益			943		943			－		943
自己株式の取得				△144	△144			－		△144
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					－	75	694	770	46	816
連結会計年度中の変動額合計	－	－	601	△144	456	75	694	770	46	1,273
2013年3月31日残高	6,609	744	9,679	△159	16,874	244	△1,132	△888	46	16,032

■連結損益計算書(要旨)				(単位:百万円)	
科 目	当 期 '12.4.1～'13.3.31	前 期 '11.4.1～'12.3.31			
売上高	54,740	58,058			
売上原価	41,224	43,287			
売上総利益	13,516	14,770			
販売費及び一般管理費	12,344	12,242			
営業利益	1,171	2,528			
営業外収益	825	307			
営業外費用	302	334			
経常利益	1,694	2,500			
特別利益	8	51			
特別損失	18	131			
税金等調整前当期純利益	1,683	2,420			
法人税等	743	811			
少数株主損益調整前当期純利益	940	1,608			
少数株主損失(△)	△3	－			
当期純利益	943	1,608			

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)				(単位:百万円)	
科 目	当 期 '12.4.1～'13.3.31	前 期 '11.4.1～'12.3.31			
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,218	2,734			
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,618	△546			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,578	△2,789			
現金及び現金同等物に係る換算差額	138	△31			
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,840	△633			
現金及び現金同等物の期首残高	7,064	7,697			
現金及び現金同等物の期末残高	5,224	7,064			

◆会社の概要

商	号	株式会社河合楽器製作所 [英文表記] KAWAI MUSICAL INSTRUMENTS MANUFACTURING CO.,LTD.
創	立	1927(昭和 2)年8月 9日
設	立	1951(昭和26)年5月15日
資	本 金	6,609百万円
上 場 証 券 取 引 所		東京証券取引所 市場第一部
主 な 事 業		楽器の製造、仕入並びに販売 音楽教室・体育教室の運営 金属加工品及び木工加工品の製造、仕入 並びに販売
従 業 員 数		連結2,812名／単体 1,400名

◆事業所

本	社	〒430-8665 静岡県浜松市中区寺島町200番地
工	場	[国 内]竜洋工場(静岡県磐田市)など [海 外]インドネシア、中国
営 業 拠 点		[国 内]関東支社(東京都渋谷区) 中部支社(名古屋市中区) 関西支社(大阪市中央区) [海 外]アメリカ、ドイツ、中国など

◆役 員		
代表取締役社長	河 合 弘 隆	執行役員 稲 垣 誠
取締役(副社長執行役員)	佐 野 良 夫	執行役員 日 下 昌 和
取締役(常務執行役員)	小 倉 克 夫	執行役員 西 尾 正由紀
取締役(常務執行役員)	大 窪 素 雄	執行役員 富 山 千 広
取締役(常務執行役員)	村 上 二 郎	執行役員 伊 藤 照 幸
取締役(上席執行役員)	金 子 和 裕	執行役員 江 部 博
社外取締役	片 桐 一 成	執行役員 玉 村 邦 明
常勤監査役	河 崎 哲 男	執行役員 大 神 正 清
常勤監査役	嶋 岡 伸 治	執行役員 合 田 光 範
社外監査役	都 築 知 也	執行役員 牛 尾 浩
社外監査役	田 畑 隆 久	執行役員 河 合 健太郎

◆株式の状況		
1.発行可能株式総数	342,000千株	
2.発行済株式の総数	84,662千株	(自己株式948,168株を除く)
3.株主数	8,873名	
4.主要株主		
	株 主 名	株式数(千株)
	株式会社河合社団	4,778
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,687
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,182
	東京海上日動火災保険株式会社	2,750
	明治安田生命保険相互会社	2,700
	カワイ従業員持株会	2,625
	河合楽器取引先持株会	2,422
	共栄火災海上保険株式会社	2,250
	株式会社静岡銀行	2,040
	日本生命保険相互会社	1,873

